

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報																				
位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																				
事務事業名	農業振興事業費(農政課振興係分)			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計			款	6	項	1	目	3	事業	1
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	振興	係	作成者	大滝 知寿	内線(電話番号)	2320	シート作成日	H30.5.31	部長決裁日	H30.10.24						
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : )			根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : )												

2 事務事業の目的															
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。															
現状課題	農産物価格の低迷及び経営コストの上昇による経営環境の不安定化や、少子高齢化の進行による国内需要の先細りが見込まれるなど、農業をめぐる情勢は近年劇的に変化している。			誰・何を対象に	農協、認定農業者、農業者等の組織する団体			望ましい状態	補助事業を活用して収益性の高いモデル的な担い手農家をより多く育成し、他の担い手農家に横展開させることで、儲かる農業を実現していく。						
どのような方法・手順で	<input type="checkbox"/> 農業や農業関係者が主体となって展開する創意工夫ある新たな取り組みを支援する。 <input type="checkbox"/> ブランド化や輸出などの新たな取り組みや、ICTや高性能機械など低コストで高品質な農作物が生産できる仕組みの導入を支援する。														

3 事務事業の主たる成果指標														
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	農業ヘルパー事業登録者数	単位	人	目標値	15	目標年次	平成 35 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	農業ヘルパー事業の受入れ体制を強化するため、H31年度においては雇用農家の登録者を増やす事を目標とする。予算を伴わない事業のため、体制が整うまで積極的に推進していく。					

4 事務事業の実績 ㊦																		
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																		
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度											
	業務名			業務名			業務名											
活動量	1件			1件			1件											
① いばらきの園芸産地改革支援事業	1,978,000			① いばらきの園芸産地改革支援事業 3,283,000			① いばらきの園芸産地改革支援事業 3,194,000											
② 食と農のチャレンジ事業	904,000			② がんばる農家応援事業 1,581,000			② がんばる農家応援事業 1,044,000											
③ 里地里山保全事業	2件			③ 里地里山保全事業			③ 里地里山保全事業											
④ 農業用プラスチック適正処理対策事業	1件			④ 農業用プラスチック適正処理対策事業			④ 農業用プラスチック適正処理対策事業											
⑤ 新規就農者研修委託料				⑤ 新規就農者研修委託料			⑤ 新規就農者研修委託料											
⑥ 敷地借上げ料				⑥ 敷地借上げ料			⑥ 敷地借上げ料											
⑦ 農産物PR拠点使用料				⑦ 農産物PR拠点使用料			⑦ 農産物PR拠点使用料											
⑧ 機器借上げ料				⑧ 機器借上げ料			⑧ 機器借上げ料											
⑨ いばらきをたべよう運動推進協議会負担金				⑨ いばらきをたべよう運動推進協議会負担金			⑨ いばらきをたべよう運動推進協議会負担金											
⑩ 茨城県農林振興公社負担金				⑩ 茨城県農林振興公社負担金			⑩ 茨城県農林振興公社負担金											
⑪ 農業災害資金利子助成				⑪ 農業災害資金利子助成			⑪ 農業災害資金利子助成											
⑫ 県緑化推進機構負担金				⑫ 県緑化推進機構負担金			⑫ 県緑化推進機構負担金											
目標値に対する実績値	人			人			人											
決算額	計	5,369,753 円	内訳	特定財源	2,882,000 円	一般財源	2,487,753 円	計	7,796,089 円	内訳	特定財源	3,283,000 円	一般財源	4,513,089 円				
	(住民一人あたりの行政コスト)			87 円			(住民一人あたりの行政コスト)			128 円			(住民一人あたりの行政コスト)			129 円		

5 担当者評価 ㊧													
実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標は設定していない	成果内容	・いばらきの園芸産地改革支援事業 常総ひかり農業協同組合の園芸部会に対し3年間で6台のコスト低減や作業省力化のための高性能機械等の導入費の1/3を助成した。 ・がんばる農家応援事業 2年間で8件の認定農業者等に対し新たな取組に係る費用の1/2を助成した。										
問題点	・いばらきの園芸産地改革支援事業 農協の右下地区園芸部会が例年受益者となっている。 ・がんばる農家応援事業 採択要件が厳しいためか、申請者が減少傾向にある。												

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨													
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	少子高齢化の進行による国内需要の先細りが見込まれるなど、農業をめぐる情勢は近年劇的に変化している中で、市としてもインターチェンジ周辺開発事業のアグリサイエンス構想に基づき、農業の活性化を図っていくうえで様々な施策を展開し推進する。												

7 実施計画 ㊩													
今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度						
事業内容	儲かる産地支援事業 がんばる農家応援事業 常総市農業ヘルパー事業 里地里山保全事業 農業用プラスチック適正処理対策事業 新規就農者研修委託料 敷地借上げ料 農産物PR拠点使用料 機器借上げ料 いばらきをたべよう運動推進協議会負担金 茨城県農林振興公社負担金 農業災害資金利子助成 県緑化推進機構負担金 茨城県茶業共進会負担金 常総地域農業振興協議会負担金⇒農業振興事業費(06-01-02-02)より項目変更予定			儲かる産地支援事業 常総市農業ヘルパー事業 里地里山保全事業 農業用プラスチック適正処理対策事業 新規就農者研修委託料 敷地借上げ料 農産物PR拠点使用料 機器借上げ料 いばらきをたべよう運動推進協議会負担金 茨城県農林振興公社負担金 農業災害資金利子助成 県緑化推進機構負担金 茨城県茶業共進会負担金 常総地域農業振興協議会負担金⇒農業振興事業費(06-01-02-02)より項目変更予定			儲かる産地支援事業 常総市農業ヘルパー事業 里地里山保全事業 農業用プラスチック適正処理対策事業 新規就農者研修委託料 敷地借上げ料 農産物PR拠点使用料 機器借上げ料 いばらきをたべよう運動推進協議会負担金 茨城県農林振興公社負担金 農業災害資金利子助成 県緑化推進機構負担金 茨城県茶業共進会負担金 常総地域農業振興協議会負担金⇒農業振興事業費(06-01-02-02)より項目変更予定						
予算額	歳出	計	10,029 千円	歳出	計	8,526 千円	歳出	計	8,376 千円				
		特定財源	5,333 千円		特定財源	5,333 千円		特定財源	5,333 千円				
	歳入	一般財源	4,696 千円	歳入	一般財源	3,193 千円	歳入	一般財源	3,043 千円				
		計	10,029 千円		計	8,526 千円		計	8,376 千円				

8 財務アドバイザーの見解													
本事務事業は、特定財源のみによる事務事業である。今後も特定財源のみにより、無駄を省き、費用対効果を最大化する予算の計画と執行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。常総市の命運がかかっている事業の一つである。事業農家で大規模農家は労働力を外国人研修生に頼っているため、研修制度の充実に取り組むことが重要と考える。農業の課題は収益率をアップさせ安定した経営農業の実現であり、活性化を目的とするならば、「やってみるか」という意欲が湧くような環境が必要である。効果のある事業展開に期待する。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	農業経営安定のためには、「儲かる農業」を目指す上での重要な施策の一つである。以前のように、作付けするだけではなく、経営力を強化し農業経営を安定させ、農業の活性化を図る。												

11 事務事業の改善理由 ㊫													
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	特定財源の補助事業のみの記載だったため、一般財源の負担金等を追記した。												